

# 学校だより

## いよいよ来週です！

昇降口に掲示している「運動会まで〇日」のカウントダウンがいよいよ一桁となりました。

校庭からは、運動会に向けて練習に励む子どもたちの元気な声が聞こえてきます。「最後まで走り切る」「大きな声で応援する」「みんなで動きをそろえる」など、一人ひとりが自分のめあてをもち、毎時間の練習に真剣に取り組む姿に、大きな成長を感じています。うまくできることばかりではありませんが、友達と声を掛け合いながら、少しずつできるようになっていく姿はとても頼もしいものです。6月6日（土）の運動会では、練習の成果とともに、最後まで全力でやりきる子どもたちの姿にもぜひ温かい声援をお願いいたします。



## こんなにも多くの方が子どもたちのために！

校舎を回っていると、図書ホールで季節に合わせた掲示物を整えてくださっている図書整理ボランティアの方の姿を見かけました。また、先日は、読み聞かせボランティアの方が集まって打合せをしてくださっていました。子どもたちのために時間をつくり、温かな思いを寄せてくださっていることに、心より感謝申し上げます。



私は本が好きです。担任をしていた頃は、よく子どもたちに読み聞かせをしていました。面白い場面では笑い、続きが気になる場面では教室が静まり返るなど、一冊の本が子どもたちの心をぐっと引き寄せる力を感じてきました。

中でも、今でも忘れられない一冊があります。『おこだでませんように（作：くすのきしげのり）』です。自分の思いをうまく伝えられず、誤解されてしまう子どもの姿に胸を打たれ、読みながら涙が出そうになったことを覚えています。

本には、知識を増やすだけでなく、人の気持ちを想像したり、自分とは違う考え方に会ったりする力があります。生成 AI やスマートフォンを活用することが当たり前となった今、本の世界にじっくり浸る時間や読み聞かせの時間を通して、想像力や豊かな心を育てていくことがますます大切になっていると感じています。これからも、家庭・地域・学校で力を合わせながら、子どもたちが本に親しみ、心を育てていける環境を大切にしていきたいと思えます。

私の最近気に入っている絵本：『トドにおとどけ』 作：大塚健太

昔から大好きな本：『ふたりはともだち』 作：アーノルド・ローベル（がまくんとかえるくんシリーズ） 訳：三木 卓  
上の本は、子どもだけでなく、大人の心も温かくしてくれる素敵な一冊です。

## 「歴史に残るのかあ」（子どものつぶやきから）

創立115周年を記念して航空写真を撮影しました。青空の下、全校で一つの形をつくるその時間は、特別なひとときとなりました。私も撮影に参加し、子どもたちと同じ目線に立ちながら、その場の空気を感じていました。

そのとき、前にいた子どもがふとつぶやきました。「この航空写真、歴史に残るのかあ」「タイムトンネルに飾られるのかな」。何気ない一言でしたが、その言葉に、私は胸がほわっと温かくなりました。

今、自分たちが作っているこの一瞬が、未来につながっていくこと。子どもたちなりに、学校の歴史の中に自分がいることを感じ、思いを巡らせているのだと思います。本校が115年の歴史を重ねてきたのも、まさにそうした一人ひとりの営みの積み重ねです。これからも、子どもたちが自分たちの学校を大切に思い、歴史を紡いでいく一員であることを実感できるような教育活動を続けてまいります。